

令和7年竹田市教育委員会第10回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和7年10月6日（月）午後3時4分から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	岡 茂樹
2 番委員	佐藤 健吾
3 番委員（教育長職務代理者）	進 みづほ
4 番委員	吉野 聖子
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	廣瀬 恵三
学校教育課長	渡部公比古
生涯学習課長	橋本 一彦
まちづくり文化財課長兼 歴史文化館長	佐藤 俊郎
竹田中央学校給食共同調理場長	後藤 誠郎
事務局員 教育総務課課長補佐	古澤 邦利
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第9回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項
 - (4) 報告事項
報告第8号 令和7年度竹田市教育費予算（9月補正）について
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項
 - (7) 連絡事項
 - (1) 10月幼・小・中行事予定表
 - (2) 10月教育委員会関係日程（予定）表
 - (3) 教育長・教育委員の学校訪問について
 - (4) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 3 時 04 分〕

廣瀬教育総務課長	委員の出席状況です。教育長及び委員 4 名が出席、傍聴者はいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	それでは、ただいまから令和 7 年第 10 回定例会を開会します。第 9 回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。 （署 名）
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
廣瀬教育総務課長	9 月 5 日、教育委員会第 9 回定例会。8 日、第 2 回表彰委員会。9 日、部活動あり方検討委員会。12 日、第 57 回竹田市中学校英語弁論・暗唱大会、竹田市議会第 3 回定例会（一般質問）、声楽コンクール第 2 回実行委員会。13 日、県民スポーツ大会総合開会式。16 日、竹田市老人クラブ連合会スポーツ大会、市議会（一般質問 2 日目）、全国大会・九州大会出場報告（女子バレーボール、バトミントン）。17 日、白丹小学校 P T A 役員協議。18 日、第 7 回校長所長会議、国民スポーツ大会出場報告（クライミング、弓道）。19 日、市議会（本会議・予算特別委員会）、県民スポーツ大会 竹田市解団式。22 日、定例課長会議、ピーマン贈呈式。24 日、市議会（決算審査特別委員会）。25 日、竹田市中学校体育連盟主催 新人球技・剣道大会。26 日、竹田市青少年育成市民会議理事会・総会、教務主任会議。29 日、教頭会議、第 79 回竹田市駅伝競走大会打合せ会議。10 月 1 日、市議会（本会議 最終日）。2 日、第 21 回竹田市交通安全市民大会。3 日、城原小学校 P T A 役員協議。6 日、教育委員会第 10 回定例会。以上です。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑等はありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは、次に移ります。本日の審議案件はございませんので、報告事項に移ります。報告第 8 号「令和 7 年度竹田市教育費予算（9 月補正）」について、はじめに各課から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは教育総務課長お願いします。
廣瀬教育総務課長	教育総務課分です。歳入 18 款 1 項 2 目の教育費寄付金 1,000 千円は、個人の方からのご寄付です。歳出、2 款 1 項 9 目、基金費は、寄付金 1,000 千円のうち 500 千円を基金に積み立てるものです。10 款 1 項 2 目、事務局費は、学校統合検討委員会にかかるお茶代 20 千円。10 款 2 項 1 目、小学校管理諸費は、会計年度任用職員の費用弁償 143 千円。ロイロノートの 5 カ年分の使用料前払い分 3,361 千円。竹田小学校の会議室空調取替工事 997 千円、直入小学校グラウンド法面補修工事 935 千円。スクールバス運行費では、スタッドレスタイヤ交換のた

めの経費 3 台分 846 千円、スクールバス運行システム改修経費 3,286 千円。10 款 3 項 1 目、中学校管理諸費は旧久住中学校の備品等廃棄処分経費 3,850 千円、ロイロノート使用料の中中学校分 2,030 千円、スクールバス運行費ではスタッドレスタイヤ交換等のための修繕料 1,861 千円、タイヤ組み換え手数料 29 千円、車検にかかる自賠責保険料 12 千円、自動車重量税 32 千円、スクールバス通行システム改修業務委託の中中学校分として 3,755 千円が 9 月議会で議決を受けました。以上です。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育課長

学校教育課です。3 ページをご覧ください。

歳入はございません。

歳出について、10 款 1 項 2 目、教育相談推進事業費は、サフランの支援員を 6 月に採用した分の通勤手当になります。同じくスクールソーシャルワーカー活用事業は直接雇用分、1 名分の旅費となります。10 款 2 項 2 目、小学校教育振興諸費は会計年度任用職員の継続雇用による期末勤勉手当と通勤手当の充当分となっています。10 款 3 項 2 目、中学校教育振興諸費として英会話講座の委託料として 50 万円を承認いただきました。100 万円の寄付金を原資として、2 クラス、月 2 回の計 10 回の教室を考えていますが、人数は 20 人～40 人の範囲で対応できるようにしています。1 回 60 分の英会話レッスンと音声認識で自動評価できる教材等を使用して学習を進め、2 年間の事業を行います。以上です。

志賀教育長

橋本生涯学習課長。

橋本生涯学習課長

生涯学習課です。資料の 4 ページ目をお開きください。

歳入に移動はありません。

歳出については、10 款 5 項 1 目、社会教育総務費について、報酬ですが、社会教育委員さんの年 3 回の委員会を開催して報酬を支払いしているところですが、1 月頃に出席をお願いする研修会の参加のための報酬を計上しておりませんでしたので、14 名×1 回分の 56 千円を計上しております。

続いて、10 款 5 項 2 目、人権・部落差別解消教育諸費の旅費について、当初、会計年度職員が出席をする予定にしておりました。研修会に一般職員が出席することとなりましたので、組替えを行いまして、普通旅費 97 千円を増額計上しました。また、費用弁償の方を精査いたしまして、普通旅費先へ、先程説明をしました、組替えを行った 97 千円と合わせて、計 147 千円の減額を行っております。旅費総額としては 50 千円の減額ということになっております。

続いて、10 款 5 項 3 目、公民館（分館）管理運営費の修繕料についてであります。これについては、岡本分館の次亜塩素酸の供給機器、水道の要は消毒の分の不具合になりますけれども、当初、増額を予定をしておりましたけれども、精査の結果必要がないということで、今回は要求をしていないということです。また、公民館運営事業費、久住支所の修繕料につきましては、空調機の漏水の修繕ということで 935 千円。それから、委託料の空調保守点検委託を、3 年間の継続契約として締結をしていたんですけれども、昨今の物価高騰によりまして、若干値上げをお願いしたいということでありましたので、220 千円。それから、工事請負費につきましては、南西の屋根の雨漏りがありますので、その防水工事として、1,946 千円を合わせて、3,101 千円を増額計上しているところですよ。

それから、10 款 5 項 13 目、あ祖母学舎運営管理費の消耗品及び備品購入費についてですが、改修工事に伴う物品の購入ということで、計上しておりましたが、精査をいたしまして、中で調整する必要が生じたので、その分、消耗品を、765 千円の減額をしまして、備品購入費については、1,419 千円の増額ということで、差し引き 654 千円を増額要求しています。また、簡易宿泊所管理費については、当初増額を計画しておりましたが、精査の結果今回は要求をしていないということです。

続いて、10 款 6 項 1 目、保健体育総務諸費の委託料についてですが、先日行われました、巡回ラジオ体操に伴う、ピアノを設置する必要があるということで、ピアノの警備料として、33 千円。それから、11 月に開催される九州地区の小学生クロスカントリー駅伝交流大会というのを、去年から行っておりまして、その分の交通警備として、協力いただけないかということでありましたので、198 千円、合わせて 231 千円。また、使用料及び賃借料についてですが、先程言いました、巡回ラジオ体操のピアノのレンタル料 147 千円の合計、378 千円を要求して、可決をされたところです。

続きまして、10 款 6 項 2 目、総合運動公園運営管理費の職員手当についてですが、会計年度任用職員 1 名を当初、新規で採用するという計画でしたけれども、募集の結果、再任用の方の配置ということになりましたので、若干、賞与の金額が違ってきましたので、12 月賞与が不足するということで、237 千円。それから、海洋センター運営管理費の修繕料として、バスケットゴールが、修繕の必要がありましたので 247,500 円。それから、女子トイレの、フラッシュバルブの修繕ということで 191,400 円、それからトレーニング機器のレックカールという機器のワイヤー交換が必要となりましたので、52,700 円を合わせて 491 千円を、今回計上したものです。以上になります。

志賀教育長

佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長。

佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長

6 ページをお開きください。まちづくり文化財課からです。

歳入はございません。

歳出です。10 款 5 項 8 目、文化財保護事業諸費です。駅裏の落門の滝が令和 6 年 2 月 21 日付をもって文化財登録原簿に登録記念物として登録されました。その落門の滝の滝つぼ整備工事一式として、3,210 千円。10 款 5 項 11 目、県営圃場整備関係発掘調査事業で、会計年度任用職員さんの費用弁償として 37 千円の増額計上しております。

続きまして 7 ページ、歴史文化館です。

同じく歳入はございません。

歳出です。10 款 5 項 12 目、歴史文化館学芸費です。会計年度任用職員さんの費用弁償として、155 千円の増額計上しております。以上です。

志賀教育長

後藤給食調理場長。

後藤給食調理場長

学校給食調理場です。説明資料の 8 ページをご覧ください。

歳入はありません。

歳出ですが、10 款 6 項 3 事業No.361、久住調理場費において、電気温水器の修繕料、660 千円が要求どおり可決されております。

次に、事業No.913、中央調理場運営費については、会計年度任用職員の費用弁償

	30 千円、救給カレーの消耗品費 336 千円、給食用コンテナの備品購入費 2,904 千円の増額が要求どおり可決されました。以上です。
志賀教育長	では、図書館について、廣瀬教育総務課長。
廣瀬教育総務課長	図書館です。 歳出のみ、10 款 5 項 7 目、図書館運営管理費について、会計年度任用職員の費用弁償を 49 千円増額し議決をいただいています。以上でございます。
志賀教育長	では、全体を通して質疑等ありませんか。 ないようでしたら、報告第 8 号を承認してよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。それでは、次に協議事項はありませんので、連絡事項に移ります。教育総務課長、説明をお願いします。
廣瀬教育総務課長	はい。(1) 10 月幼・小・中 行事予定表です。2 日、竹田中の交通安全教室。4 日、竹田幼小学校合同、都野小保合同、直入小の秋季大運動会。10 日、祖峰小の九重野稲刈り。11 日、豊岡小、白丹小の運動会。11 日から大分県中学校新人大会(バスケットは 12 日まで・野球は 13 日まで)。12 日、荻小の運動会。14 日、祖峰小の火災避難訓練。16 日、城原小の不審者避難訓練、トリニータの久住小学校訪問、竹田幼稚園の避難訓練。17 日、豊岡小 5 年の稲刈り。18 日から 19 日、大分県中学校新人大会(バレー・テニス・卓球・剣道)。19 日、久住小のふれあい活動・親子人権講演会。20 日、直入中の着物着付け体験、南部幼稚園の芋掘り。23 日、竹田幼稚園の芋掘り。24 日、竹田中蛍雪祭。25 日、緑ヶ丘中の感謝祭。26 日、荻小の東雲小稲刈交流、竹田南部中の文化祭。29 日、南部幼稚園の避難訓練。31 日、第 77 回瀧廉太郎を偲ぶ音楽祭。(2) 教育委員会関係日程(予定)表です。10 月 6 日、第 10 回教育委員会定例会。7 日、人権・部落差別解消教育研究大会。8 日、校長会意見交換会。10 日、第 3 回行革推進本部会議、大分県へき地・小規模校教育研究発表大会。11 日、岡城清掃の日、城原夜神楽。14 日、友好都市バードクロツィンゲン市交流 35 周年記念祭実行委員会、全国障がい者スポーツ大会陸上競技全国大会出場報告。15 日、第 37 回岡の里名水マラソン実行委員会。16 日、17 日、九州都市教育長協議会定期総会・研究大会。18 日、19 日、第 79 回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール。20 日、学校訪問①(給食調理場・都野小・白丹小・城原小)。21 日、第 8 回校長・所長会議。22 日、白丹小学校 P T A 意見交換会。23 日、定例課長会議、人権・部落差別解消教育研究大会。24 日、算数教育研究発表会。25 日、地域クラブ指導者研修会。27 日、歴史文化館協議会、第 2 回竹田市いじめ問題専門委員会、竹田市教頭会。28 日、学校訪問②(南部小・南部幼・祖峰小・学校支援センター・竹田中)。29 日、第 76 回大分県公民館研究大会、大分県危機管理研修会。30 日、第 4 回竹田市長総合教育計画審議会、11 月 2 日、第 37 回佐藤義美賞 表彰式。3 日、第 77 回 画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術祭表彰式、令和 7 年度竹田市・竹田市教育委員会功労者表彰式。4 日、解放文化祭実行委員会。5 日、教育委員会第 11 回定例会。「(3) 教育長、教育委員の学校訪問について」は資料 5、6 のとおりです。前回、9 月の教育委員会で説明しました。当日使用する

公用車に変更がありましたので添付しています。それ以外の変更はございません。(4) 今後の主な日程です。先ほどの日程と重複しますが、①第79回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール表彰式は10月19日(日)13時30分～15時までグランツたけたで開催されます。担当課から別途ご案内します。②、③は、学校訪問日程です。10月20日に第1日目、28日に第2日目の日程が入っております。④佐藤義美賞竹田童謡作詞コンクール表彰式、童謡祭は11月2日(日)にグランツ竹田で開催されます。⑤第77回画聖田能村竹田先生を偲ぶ美術祭特別入賞者表彰式は11月3日10時30分からグランツたけたで開催されます。また⑥竹田市功労者表彰式は同日の午後13時30分からグランツたけたで開催されます。⑦教育委員会第11回定例会は、11月5日(水)15時から市役所2階庁議室で開催します。⑧、⑨、⑩は学校訪問の3回目から5回目までの日程です。⑪教育委員会第12回定例会は、12月5日(金)15時から市役所2階庁議室で開催します。定例会終了後に人権研修を行う計画としています。以上でございます。

志賀教育長

質問等ありませんか。
連絡事項についてはよろしいでしょうか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

それでは、各課から報告事項があればお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

廣瀬教育総務課長

はい。教育総務課から、学校の統合の状況についてご報告をいたします。9月17日(水)19時から白丹小学校PTA役員、校長先生、教頭先生と教育長以下、教育総務課、学校教育課で今後の進め方についてご相談を行いました。白丹小学校については、既に令和9年4月からの統合が申し合わせられましたので、今後は統合、閉校までの授業や記念事業、統合後のスクールバスや放課後児童クラブの利用に不都合が生じないように連絡調整を図りながら進めていきたいと考えています。10月22日(水)19時からPTA全体会を開催し、今後の進め方の説明とスクールバスについて現状でのシミュレーションを説明するなどを行うこととしました。また、11月13日(木)19時から第2回目の全体会を開催し、放課後児童クラブについて、説明を行うこととしています。10月1日(水)の9月定例会閉会後の議員勉強会で学校統合の経過報告と教育行政に関する点検報告書の提出について2点、説明を行いました。学校統合については白丹小学校統合検討委員会で久住小学校との統合を行うことを決議した経過等について報告しました。議員からの質問はありませんでした。次に城原小学校については10月3日(金)18時から城原小学校でPTA役員、教育長、教育総務課、学校教育課で話し合いを行いました。城原小学校については、これまでに大きく分けて、竹田小学校の教室は不足しないのかといった質問、スクールバスの運用について、放課後児童クラブについてという3つの質問について説明してもらいたいと要望を受けておりました。竹田小の教室の件、スクールバスの件については、全会8月29日に説明会を開催しましたので、残る放課後児童クラブの運営についてどのように進めるかを話し合いました。当日は城原っ子の事務局の後藤さんも出席してくださいました。今後の進め方としましては、竹田小学校の「こねこ」の運営者の方と市、PTA会長とで意見交換をすることとなりま

した。それを受けて 10 月 31 日に PTA 全体会を開催して放課後児童クラブの運営について説明会を開催する計画となりました。教育総務課から、以上です。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育課長

はい。学校教育課からは 3 点お願いします。

1 点目は、10 月 4 日に科学の甲子園 Jr の 2 次予選が行われました。筆記試験の 1 次予選を勝ち上がった竹田南部中・緑ヶ丘中の合同チームが実技試験に臨みました。題材は既定の道具を用いたグライダーの作成でおもりの数と飛距離で競うものでした。生徒は試行錯誤を加えながらチャレンジし笑顔で終えることができました。2 年連続 2 次予選進出を果たしましたので、来年につなげていきたいと思います。

2 点目は、「瀧廉太郎を偲ぶ音楽祭」です。今年は、10 月 31 日に 9 時開会で、午前幼稚園・小学校・支援学校、午後は吹奏楽・支援学校・中学校の部が行われます。時間が許せば会場でお聞きください。

最後に、学力調査の分析についてです。

タブレットの資料学力調査をご覧ください。資料が 61 ページありますので、特徴的な問題についていくつか取り上げて説明します。

まず、竹田市統一学力調査についてです。iPad ページ 6 ページをご覧ください。小学校 4 年生において全体的には目標値を達成していますが、個々の問題で課題が見られるのが漢字です。今回は「庭」がかけた児童が 58%にと止まっていました。続きまして、iPad ページ 22 ページをご覧ください。中学校 1 年生において唯一全国平均を下回った国語について課題が見られたのが、大問 1 の (3) です。プリントにあるようにインタビューの効率的な行い方についての問題です。相手のコメントに対する次の質問を臨機応変に考えるような活動を増やして経験させること求められます。

次に大分県学力学習状況調査についてです。iPad ページ 34 ページをご覧ください。小学校 5 年生の国語でも小 4 と同じく漢字を正しくかけていない実態が見られます。よって、この漢字については小学校段階で、以前は力を入れていましたが、最近ちょっと手薄になっているのかなあと、市教委の方でも分析しておりますので力を入れていきたいと思っています。続いて iPad ページ 40 ページをご覧ください。中学校 2 年生の英語において、「聞くこと」リスニング力に弱点があります。先ほどの英会話教室を含めて、英語を多く話し、聞く活動を市としても後押ししていきたいと考えています。

最後に全国学力学習状況調査についてです。iPad ページ 44 ページとプリントをご覧ください。小学校 6 年生の算数において課題が見られるのが図形の問題と割合の問題です。台形の定義「向かい合う辺の少なくとも 1 組が平行である四角形」を理解できていない状況が見られます。割合は分数、小数、百分率、或いは比なども割合になりますが、それらを換算する知識が、ちょっと弱いなということがわかりますが、今消費税の時代ですので、自分が買ったものの 10% が幾らになるのか、これを果たして理解して、お金を支払っている子がどれほどいるのかというのがちょっと、うん、疑問に思います。もう Pay Pay で、ぴっと払って終わりと、いうようなことが増えてきた結果かなあとも思っています。この割合については、この学年に限らず、もう全学年に共通して苦手意識がありますので、何とか鍛えていかなければならないかなと思っています。iPad ページ 46 ページとプリントをご覧ください。中学校 3 年生において課題

が見られるのが、割合の問題と整数問題です。整数問題では数式の意味を言語化する力が求められます。最後になります。iPad ページ 49 ページ以降は質問紙の回答について分析を行いましたのでご覧になっておいてください。
全体的に今年の学力調査では昨年を上回る結果となっていますが、竹田市は児童生徒数が少なく分母が小さいので、状況は毎年大きく変動していきます。一喜一憂することなく課題を見据えて一つでも解決できるように取組を進めてまいります。ありがとうございます。

志賀教育長

橋本生涯学習課長。

橋本生涯学習課長

はい。生涯学習課からは、7 点報告をいたします。

1 点目は第 78 回の県民スポーツ大会です。応援、それから解団式の出席ありがとうございました。今年の結果についてですが、昨年は 14 位、躍進賞をいただきましたが、今年は残念ながら定位置の 16 位という結果でした。1 点でも多くということで選手も頑張ってくださいましたが、健闘及びませんでした。ただ、水泳では男子 30 歳未満 100m 個人メドレーにおいて大会新記録を樹立、平泳ぎでも優勝しております。また自転車のロードレース競技に、ご夫婦で優勝するなど明るい話題もありました。来年については気持ちも新たに一つでも上の順位を目指して頑張りたいと思っています。

2 つ目は、皆さんのお手元にご案内と青色のチラシを配付させていただいています。第 79 回の瀧廉太郎記念音楽祭がもう残すところ 10 日あまりになりました。そのチラシの裏側に、今年の参加者の一覧があらうか思います。32 都道府県から今年についても 34 名の方が、参加いただけるということになりましたので、ぜひ、当日は足を運びいただければと思います。またご案内をさせていただきたいと思います。

それから 3 点目として、第 77 回画聖「田能村竹田」先生を偲ぶ美術際でございます。皆さんには A42 枚の資料を、配布させていただいております。今年は絵画の部 2,686 点、書写書道の部が 771 点の総応募数が 3,457 点の応募があり、昨年よりも 199 点ほど少なくなりました。絵画の部は 130 点増加しましたが、書は 329 点と大幅に減少いたしました。なかなか児童・生徒が減る中で、応募作品数を伸ばしていくことは非常に難しい状況にありますけれど、担当が努力して増やしてきたところであります。竹田市内から応募状況ですが、絵画は 569 点で、昨年より 74 点減少しましたが、書道については特別支援学校が応募していただいたことから、125 点で、24 点増加しております。ただし傾向としては年々下がっているのが現状であります。これについても子どもが減っているというのが大きな原因かもしれません。やはりどうしても、絵画は出せるけど、書の方が、塾に行っている子どもたちに及ばないというのが現状だろうというふうに思います。半紙を学校で練習してそれを出していただいておりますけれど、審査員の目からすれば、なかなか書道で習っている子どもたちには及ばないというのが現状なんだろうと思います。そういう学校については、できれば絵画の部でしっかり応募いただければというふうに思います。それから 6 日に審査がありました。資料の 3 枚目に、今年の審査結果を載せております。書写書道の部については、文部科学大臣賞は、竹田高校 3 年生の藤部笑依さんが受賞しました。それから、大分県教育委員会教育長賞に南部小学校の 5 年生の吉良茉緒さん、竹田市長賞に豊岡小学校 6 年生、副田愛莉さんが選ばれました。絵画の部につきましては、文部科学大臣賞は、国東高校 2 生の金田瑠依さ

んが受賞しました。竹田市からは、竹田市議会議長賞に白丹小学校 3 年生の佐藤妃弥乃さん、竹田市美術協会会長賞に、都野小学校 5 年生の新宮蒼太さんの 2 名が特賞を受賞し、書写書道の部、絵画の部合わせて 5 名が特賞に輝くなど、一生懸命頑張っていたというのを報告しておきます。

4 点目は全国大会及び九州大会出場報告についてです。9 月 16 日に緑ヶ丘中学校 3 年生の下城空舞さんが全国大会の出場報告に来られました。9 月 20 日から大阪府及び和歌山県で開催された、JVA 第 28 回全国ヤングクラブバレーボール大会に出場に所属する津久見カテリーナから出場しました。

また、9 月 18 日には大分工業高校 2 年生の森葵さん、竹田高校 3 年生の安倍樹さんが、全国大会出場報告に来られました。森葵さんは、10 月 3 日から滋賀県で開催された、第 79 回国民スポーツ大会、スポーツクライミング競技に、安倍樹さんは、9 月 28 日から開催された同大会の弓道競技に出場されました。また、当日は体調不良により欠席しましたが 竹田高校 3 年生の塩谷太郎さんが 同じく滋賀県で 10 月 25 日から開催される第 24 回全国障がい者スポーツ大会、陸上競技の立幅跳び及びソフトボール投げ競技に出場されます。

5 つ目に、第 37 回豊肥地区開放文化祭についてです。

お手元にご案内の文書をお配りしておりますので、詳細についてはそちらをご覧ください。11 月 22 日（土）午前 11 時 30 分より、豊後大野市総合文化センター エイトピアおおのにおいて、部落差別問題をはじめとする、あらゆる差別問題の解消に向け、劇や歌などによる様々な表現活動を通して、差別や人権に対する個々の完成を高めるとともに、出演者とともに観覧者も、感動や喜び、達成感を共有するとともに、連帯の意識を醸成し、人権の大切さを伝えていくことを目的に開催いたします。竹田市からは祖峰小学校及び直入中学校 1 年生が出演いたします。教委委員の皆様にも、ぜひご出席いただきますよう、ご案内いたします。

6 点目は、第 37 回さとうよしみ竹田童謡祭が、別紙チラシのとおり 11 月 2 日（日）にグランツ竹田において開催されます。15 時から童謡作詞コンクールの表彰式、引き続き 17 時から室内オーケストラによるクラシックコンサートとなっております。

7 点目は、昨日開催された 市制 20 周年記念巡回ラジオ体操です。計 267 名の方に参加をいただきました。

その他、資料はございませんが 10 月 29 日（水）、公民館職員を対象とした第 76 回大分県公民館研究大会が、グランツ竹田で開催されることになっております。以上です。

志賀教育長

佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長。

佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長

はい。まちづくり文化財課と歴史文化館、生涯学習課からです。
お手元に、竹田城下町まちめぐりパスポートをお配りしています。
これは市長部局と教育委員会部局が部局を超えて横断的に取り組んだ事業です。歴史と文化の香り漂う城下町を存分に楽しんでいただける「たけた城下町まちめぐりパスポート」の販売を令和 7 年 10 月 4 日から開始しました。購入日から 2 日間有効です。文化施設の入館、まち歩きスタンプラリー、そして協賛店舗での特典利用など、用途に合わせて選べる 3 種類をご用意しています。パスポートを手に、竹田ならではの歴史・文化・温泉・グルメをお楽しみください。

パスポートは3種類あります。1番目が5施設のスタンプラリーです。5施設というのが、岡城跡と歴史文化館と佐藤義美記念館、それから、瀧廉太郎記念館と花水月の5施設になります。通常ですと、全部入ると大人は2,000円かかるところが、券を買うと800円で、5施設回れるというものになっています。その2が、城下町のお店めぐりということで、5枚つづり、1,000円のものになります。施設、お店がどこかという、裏のページに、施設を載せております。1枚200円のチケットなんですけれども、お店によってチケットは、1枚であったり、2枚であったりします。3番目のパスポートチケットとして、上の5施設のスタンプラリーと、2番目の城下町のお店めぐりを合わせたもので、1,800円するところが、合わせると1,600円で、両方回れます。通常の料金になると、3,000円が1,600円で回れるというものになります。温泉文化施設、まちのお店めぐりをすべて満喫できる贅沢なパスになります。竹田の魅力を余すところなく、体感したい方におすすめです。ホームページでもお知らせしていますので、どうぞ、周知にご協力ください。

続いて、歴史文化館からです。先月の教育委員会でもお知らせしましたが、8月30日から10月19日（日）まで、「中川久清の時代と『登山大名』の世界」展を開催していますが、小説「登山大名」の作者の諸田玲子先生を招待して、10月12日（日）の16時から、久住高原ホテルで講演会、次の日13日（月・祝）の11時から、歴史文化館でギャラリートークを行います。合わせてサイン会も行います。以上、お知らせです。

志賀教育長

後藤給食調理場長。

後藤給食調理場長

はい。学校給食共同調理場から1点ご連絡します。
10月17日（金）に直入小1、2年生17人が調理場を見学で来訪する予定です。給食についての栄養教諭への質問コーナーや、見学通路からの見学、衛生面に配慮された施設の設備の状況などを見ていただく予定です。以上です。

志賀教育長

では、図書館、廣瀬教育総務課長。

廣瀬教育総務課長
（図書館）

志賀教育長

はい。図書館からは特にありません。

それではご意見、ご質問等ありませんか。
それでは、教育委員の皆さんからご意見感想等があれば、いただきたいと思います。岡委員からお願いします。

岡委員

私からは、先ほど学校教育課の補正予算でも出ていました英会話教室に関連して、このところ英語に関して思うことを述べたいと思います。教育委員会も支援をしております英検が、先週、中学や高校で行われまして、実は、私も数十年ぶりに腕試しのつもりで英検を受けて参りました。久しぶりの試験ですごく新鮮でした。それで今回、英検の勉強をするにあたって改めて感動に近い驚きを感じたのが、生成AIの威力です。チャットGPTを使っていろいろ組みんでみましたが、英語の4技能のすべての分野において、とにかく驚異的な能力を発揮してくれているなという印象があります。先生方はもちろん高校生あたりも、個人レベルでは結構使っていると思うんですが、今後、英語学習を大きく変える、まさにパラダイムシフトが起きているという気がしています。先

生からの一方向の指導から、生成A Iを上手に使いこなして、スピードと質を向上させて、より創造性のある対話ベースの力を伸ばしていくスタイルに変わると思います。よく、A Iが先生の仕事を奪うという話があるんですけど、今回使ってみて、実は全く逆で、プロンプトとの書き方とか、A Iの解説をどう解釈するかといったようなスキルは、しっかり教えてあげないといけないなと思いますし、特に英語の場合、中学生レベルですと、使いこなせるレベルまで到達していませんので、A Iを使った学習について、リスクも含めて先生方からのアドバイスがすごく大切だと思います。すでに行われているかもしれませんが、今後、先生方の授業研究の中で、生成A Iをどのように利用して効果的な授業を組み立てていくかという点にフォーカスして、情報共有していくということもすごく大切になってくると感じています。最後に、質問というほどではないですけど、今、学校現場で、生成A Iの利用に関してどんな位置付けでアプローチがされているのか様子をお聞かせいただきたいなと思っています。以上です。

志賀教育長

佐藤委員、お願いします。

佐藤委員

はい。私から数点、今、岡委員の方からちょっと英語に関してのお話があったんですけど、私もちょっと英語で気になって、先ほど学校教育課長からご説明あった学力調査の資料の33ページですかね。県の調査の中2の偏差値の推移ということで、令和元年から7年まで、載っているんですけども、他の教科はいいとして、英語はもう常にちょっと低いような状態で、特に、令和4年が一番低いんですけど、私の子どもの年でもあるので、ちょっと気になってはいるんですけども、もうちょっとやっぱ、英語に関して底上げといいますか、英会話講座との活用や、もちろん学校現場でも先生方にいろいろと、していただいていると思うんですけども、やっぱり数字だけを見ると、やっぱり、若干英語は弱いのかなという気はします。これは、感想です。

それと、2点目。10月3日に行われました城原小のPTA役員さんとの、意見交換会ということで、放課後児童クラブについてということで、もし、数点でもいいので、具体的にこんな意見や質問があったということをお聞かせいただきたい。

それと3点目。これもちょっと質問なんですけども、今現在、宮城地区から竹田小に通っている児童さんが何名いらっしゃるのか、もしこの場で分かれば、ちょっとお聞かせしたいなと思います。もう分からなければ大丈夫です。というのが、私は城原ですが、予定にもありましたけども、10月11日に夜神楽があって、12日に城原神社の大祭があります。宮城地区から阿鹿野獅子がやっぱり来るんですけども、子どもの数が減っていて、参加ができないかもしれないというふうにもちょっとお聞きしました。噂かもしれないんですけども。子どもが少なくなることで、歴史とか文化とかの継承も、ちょっと厳しくなるような傾向があります。神社に携わっているものとして、やっぱり歴史とか文化は残していきたいなと思いますので、ちょっとこれは教育委員会とは関係なくなるかもしれないんですけども、人を増やすような施策等も、大事になってくるんじゃないかなというふうに思っております。私からは以上です。

志賀教育長

進委員、お願いします。

進委員

はい。私からは先程、渡部課長の方からありました漢字に関してなんですが、私たちの頃は、今の宿題の状況がちょっとわからないけれども、私たちの頃はとにかく 200 字帳に漢字を毎日書いて出していたなというのが、思い出しました。

そして息子たちのことを考えても、小学校 3、4 年生のときは、漢字を丁寧に、書いて行ったら、先生が、何級何級とか言ってくれて、綺麗にずっと書いたら 1 日お休みとかそういうゲーム感覚で、漢字を覚えていたなあというのを思い出しました。

あと、県民スポーツ大会なんですが、陸上の応援に行かせていただいて、佐藤委員の力走も見たところではありますが、若い選手と、ちょっと話したときに竹田市のためにと行って、走っている姿とか、今年振るわなかったから、来年リベンジしたいというような話をされていて頼もしいなというふうに感じました。人口というか選手層とかもあるので、結果は振るわなかったかもしれないんですけど、一致団結して竹田市として、参加することに意義があるなというふうに感じました。

1 点ご相談なんですが、荻小学校の運動会当日に開催できれば、もちろん行けるんですが、順延なった場合、13 日がちょっと都合がつかないので、申し訳ないんですが、どなたかというか、すいませんお願いします。以上です。

志賀教育長

吉野委員、お願いします。

吉野委員

はい。私は、10 月 5 日に、直入小学校の大運動会に行ってきました。前日の土曜日が少し雨で、延期しての日曜日の開催だったんですけど、保護者の方もゆっくり見れて、お天気にも恵まれてとても良い運動会だったなというふうに思います。そして、たくさんの保護者の方にお会いして、普段なかなかお話できないような方とも会えたのがよかったんです。ご自分のお子さんだけでなく、周りの子どもの様子をよく見ていてくれたり、また、他校から赴任してこられた先生が、1 年目 2 年目と奮闘されている様子をずっと見てくれている様子とか、いろんな喜びが共有できて、とてもいい時間でした。練習の様子とかも聞いた感じだとやっぱり 10 月開催にしてよかったんだろうなというふうに思っております。

10 月、11 月にかけて結構行事ごとが多いと思うんですけど、多方面で何か見直しがされている話をよく聞いていて、お祭りの持ち方とか、いろんな行事が、時期をずらしたり、また、2 つを 1 つにまとめたりとかそういう流れがあるのかなと思います。いろいろが重なって子どもが参加できないというのが本当に寂しいことなので、全体を見直すときに、学校の生徒のスケジュールとかと一緒に、考えられるといいのかなというふうに今後課題なんだろうなというふうに感じています。

1 つ、学力のことで、質問が 1 個ありました。すいません、49 ページの学校質問紙というのはどなたが回答したものなのか、というのがちょっとよくわからなかったのを教えてください。それと、その学力の関係の資料の私は青字のページを飛ばし飛ばし見たんですけど、漢字とかのように苦手分野として照会されていた中に、時刻と時間というのがあって、私も学びの教室に行ってるときに、小学生などが、アナログの時計を読むことの苦手な感じ。あと、2 つの時計の間に何時間何分だったかとか、何分後は何時何分かとかそういうのがよく分かっていない様子をちょっと感じていたので、漢字とか荷重の割合とかシャンプー

の容器とか、時計も合わせて、日常生活の中で、あまりこう必要にしていなくて、身につかないんだろうなというふうに思っているの、何かと会話の中に取り入れたりとかして家庭の、何て言うんですかね、コミュニケーションの中に入ってくるといいのかなと思ひまして、今、さっき問題のコピーを見せてもらったのがとても、子どもが、こういうふうに解いているんだなっていうのがよく分かったので、本当1つずつでも、学校だよりなんかちょっと話題にしてみらえるといいのかなというふうに思ひました。以上です。

志賀教育長

はい。それでは、質問がいくつかありましたので整理をします。まず、生成AIはどんな位置付けなのか、どんなアプローチをしているのかということ。それから、2つ目に、英語の学力について、どういった底上げをしているかということ。それから、3つ目が、放課後児童クラブの今後のあり方について。それから、4つ目に、分かればということですが、宮城地区から竹田小に通う子どもの人数。それから、漢字の宿題は、今どんな感じなのかということ。それから、もう1つが、学力調査における学校質問紙とは一体どういうことかということ。以上、担当の課から、回答お願いします。
ではまず、学校教育課長。

渡部学校教育課長

はい。ありがとうございます。
まず生成AIの学校現場での対応についてですが、今は、市として、「これを使ってください」、「これは、使わないほうがいいですよ」とかいう方針は出しておりません。ただ、学校で今一番生成AIを活用しているのが、プレゼンソフトで、キャンバ、もうこれは、学校に限らず、世界的に今流行っていますが、プレゼンを作るというのは、結構今までパワーポイントとか、時間がかかってセンスもいったんですけど、これが、もう一気にできます。元を作ってくれますので、あとは微調整をするとかという段階で、完成度が上がってきます。こういったものを、先生も生徒も使っているところであります。また、その他では、iPadの最初の方からありました、個別学習に使える問題のアプリ、これも生成AIで、個人に合った、問題を作成してくれております。今のところ、アプリに頼っている場面が多いようにありますが、先日、竹田中学校の研究授業を覗いてみたら、先生の質問に対して、グループ学習のときに、何も指示はしないんですが、もうチャットGPTを使って、ある程度の答えの道筋を見つけながら、そこで終わるんじゃなくて、自分たちの答えを展開していたので、いい使い方をしているなあとというふうには思ひました。今後、様々な便利なツールができてくると思うんですが、やはり自分も、岡委員が言われたように、まずはプロンプトとの書き方。これ1つで、自分の知りたい答えに、たどり着けるのかどうかが決まってくるので、やはり、日本語の指導を含めて、こういう言語化、言語能力の育成というのは、今まで以上にやっていかなければいけないかなと思ひております。

2点目の英語教育については、市として英検、そして英会話教室、いろいろ打ち出してはいますが、学校現場の方でも、昨年一昨年から力を入れてくれております。英語の弱点というのは、竹田市だけの課題ではなくて、もう周辺部ですね、もう大分県全体といっても構いません。やはり英語に触れる機会が少ない地域性というのがありますので、都会に行けば、街なか歩けば、電車に乗れば、英語が必ず流れてきます。英語の耳になってきます、脳になってきます。そういったことを少しでも応援できるように、聞く・見る・話す機会を提供できた

らいいかなと思っています。学校の先生方も一生懸命研究を重ねながら、何とかして英語力を伸ばしていきたいというふうに頑張っております。特に、先日の英語弁論の暗唱大会、とてもいい中身だったかなと思っておりますので、ああいう指導を続けていっていただきたいと思います。

漢字については、一応漢字の宿題というのはあるようにあるんですが、毎日ではないとかですね、その理由が子どもに、書かして出してもらうんだけど教員が丸付けをする時間がない。それでもいいと思うんですけど、その辺もちょっと実態を把握しながら、漢字指導については、ちょっとてこ入れをしていこうかなと思っております。

続いて宮城出身の児童についてですが、ちょっと今、正確な数はわかりませんので後程調べてお知らせしたいと思います。ただ、もう今ですね、阿鹿野獅子については、地域性もあるんでしょうけど、その他のお祭りを見ると、もうその地域にこだわらず、募集して参加したいお子さんを募っていく、或いはもう男の子だけだったものを、女の子もOKにしていく。そういうふうな流れが、もう社会全体竹田市の中でもいろんなお祭りで見られているのかなあと思っています。合わせて、学校行事等をかち合わないようというのは、特に、南部小学校、竹田南部中学校校区は、広うございますので、地域のお祭りも、それぞれ分かれてあります。その辺は、一応、月行事の中で、配慮している部分はある。と聞いております。

最後に、質問紙については、今回出したものについては、校長が答えているものです。校長じゃない場合も教務主任が答えて、校長が最後の決裁を出して、提出しているというものになっておりますので、校長目線で見た、児童生徒の様子となっています。

吉野委員からありました問題を知るというのは、とっても大事なことで、これが今まで、学校の教員も出来ていませんでした。自分の教科しか知らなかった。けども、私、理科ですけど、国語の問題もちゃんと見て分析して解いてみて、今、言語能力はこういうことを、問われているんだということを全教職員でやって、学力について考えていっているところであります。保護者の皆様にも通信通じて、学校から出る場合があると思いますが1つはさっき言った著作権がありますので、なかなか出せない部分もありますから、PTA等で、学校の中で、配って回収すれば問題ないかなと思っておりますので、そういうリクエストもしていいのかなと思っています。以上です。

志賀教育長

児童クラブについて、教育総務課長。

廣瀬教育総務課長

はい。10月3日（金）の城原小学校での、放課後児童クラブについての話の詳細ということでございます。まず、10月3日の話し合いにつきましては、市と学校の先生、それからPTAの役員さんとの、今後の進め方ということで、PTA保護者の皆さん全体にどのようなご説明をしましょうかというようなご相談をしたところでした。当日は、城原っ子の事務局をしてくださっている後藤さんが、同席をしてくださったということです。会議の進行につきましては、保護者の皆さん、以前からのご心配の中に、放課後児童クラブが存続できるんだろうか、という大きなご質問心配がありましたので、課題を整理をしましょうということで、統合した後に竹田小学校校区に、そもそも2つの児童クラブを制度的に置いてもいいんだろうかというようなことを1つ、今、何々小学校には何々児童クラブというのが1つあるんで、そこに2つを置くことができるの

かなという、もし質問があればということで、「それは可能ですよ」という整理をしました。それから、今ある城原っ子の方に、仮に統合したとして城原っ子の方に希望する方というのは、何人いて、また、今運営をしてくださっている事務局の方は、今後も継続してできるのだろうか、というような整理が必要だなということを話しました。また、統合後に城原から竹田の方に向かう、保護者、児童の皆さんについてこねこの方ですね、申し込みたいんだというような方も何人かいらっしゃるのかな、というふうにも考えましたので、今度はこねこの運営者の皆さんにとっては、城原から現状何人来られたときに、運営に影響を及ぼすことがあるのかどうかですね、あまり多くの人が来ましたとかですね、そういったことに対してどのようなご意見を持っているのかということで、調べて整理をしましょうというような内容話をしまして、城原につきましては、後藤さんご出席でありましたので、運営者の方等もですね、高齢等もあるかと思いますが、運営については、なかなか厳しい状況ではあるんですけどもということですが、明確にどうというような結論ではないんですけども。こねこについては、改めて、城原のPTA会長さんもお加勢いただいて、しっかりと話を聞き取りを、したほうがいいんじゃないかということで日程を調整するということで、終了しております。そしてまた、今回が3つ課題で、この3つについて、勉強させて欲しい、市も説明をして欲しいという、3つ目の課題が児童クラブでありましたので、今後の日程についても、年度内大まかに見て年度内の進め方なども申し合わせをしたところでございます。城原の地元の協議会さんとか、自治会長さんとかからも心配の経過のという話もありましたので、今このように進んでいることについて、大体の目安というか、そうした説明もいたしました。以上です。

志賀教育長

回答がありましたけれども、何か補足とか、さらに、聞きたいとかいうことは、ないでしょうか。よろしいでしょうか。

A Iにつきましては、今後さらに有効活用すべきですし、使ううちに予想もしない問題点が出てくるという可能性もありますので、活用マニュアル等を整備していかなければというふうに思っています。他市でも、まだマニュアルが完成できていない、ほとんどできていないところなんですけれども、これからそういう流れになると思います。

それから、英語力についてですが、自分自身も非常に責任を感じるところなんですけど、ただ環境のせい、田舎だから、とかいうことにはしたくない。口が裂けてもそういうことを理由にしたくないと思っています。今まで、英語教員の授業力向上の研修とも、さんざんやってきましたし、今後も続けていきたいと思っています。

それから、伝統芸能の継承についてなんですけれども、例えば、菅生地区。昔は各家の長男だけが、6年生になってやっと習うことができていたということなんです。それを、その地区のお年寄りの方は、「俺次男やけん、さしてもらえなかった」とか言うんですが、今はもう長男も次男も関係ない。それと男子も女子も関係ない。そして、6年生からでなくて、小学校1年生から始めると。だんだんそういった状況にして、それでも子どもの数は足りないんだけど、地域の方が、面倒を見て練習をつけてるという状況です。学校は、大祭のときなどは便宜を図るといったことをしていますので、これからどの地区もそういった課題が出てきますので、何とか、地域で盛り上げていくしかないのかなと思います。

それから文化財課が伝統芸能のデジタル化とか、そういうことにも取り組んでいますので、その辺で何かありますか。

佐藤まちづくり文化財課長兼歴史文化館長

以前デジタル化で、撮っている神楽、羽熊、獅子舞とかはあるんですけども、現在進行中のところはない状況であります。

志賀教育長

そういった状況ですけども、何とかと伝統芸能という子どもが地域に限らず、学んでいかなければならないというふうには思っています。

その他、ないでしょうか。はい。

ないようですので、以上で第10回定例会を閉会します。

ありがとうございました。

(閉会)

[閉会時刻:午後4時23分]